

# WE ARE KUNIMI JUNIOR ROOTERS! 2018-2019

## 国見ジュニア応援団とは?

子どもたちが、町の歴史や伝統文化、産業、震災復興への取り組みを学び、町の魅力と元気を全国に発信することで、“ふるさとに愛着を持つジュニアリーダー”を育成します。



# 国見ジュニア応援団 1年間おつかれさまでした

国見町の魅力と元気を全国に発信し続けてきた「国見ジュニア応援団」。

1年間の活動を通して、さまざまな経験を重ねた団員は、頼もしい「ジュニアリーダー」へと成長を遂げました。



太田町長に町旗を返還する高橋さん

**国**見ジュニア応援団の解団式が2月17日、観月台文化センターで行われました。解団式では、団長の岡崎忠昭教育長が「1年間、町の応援団として立派に活動していただきました。お世話になったみなさんへの感謝の気持ちを胸に、応援団での経験を今後に生かしてください」とあいさつ。団員を代表して、藤原華凜さん(県北中1年)が「震災から元気になった国見町の本当の姿をPRするため、さまざまな活動に取り組んできました。今後は応援団

での経験を生かし、ジュニアリーダーとして町の発展に貢献していきます」と活動振り返り、高橋凜さん(国見小6年)が太田久雄町長に町旗を返還しました。太田町長は「今後もしっかり国見を知って、感じて、好きになってください」とねぎらい、団員に記念品を贈りました。解団式後は「活動のふりかえりパーティー」も開かれ、これまでの活動をスライドショーで振り返り、団員は思い出話に花を咲かせながら、自身の確かな成長を実感していました。



二十三夜講を記念して建てられた二十三夜供養塔

『国見のたからもの』No.58

にじゅうさんやこう 二十三夜講 (大字泉田)

講とは本来、仏教の信者が集い、仏の徳を賛美する法会のことをいいましたが、民間に浸透していく過程で、仏教だけでなく身近な信仰や経済的・社会的な意味を持つものも出てきました。二十三夜講は、お産や蚕の神様である二十三夜様を信仰する講で、「女性だけが集まり月を拝む」「男性が新しい“わらだ(養蚕用具)”を編み団子などを供える」など、地区によって形式はさまざまでした。

町内におよそ42基の二十三夜供養塔が遺されていることから、かつては多くの地区で行われていたことが分かりますが、現在はほとんど行われていません。今も継続している泉田上町内会では、「新年会」に形を変えて歴史を繋いでいます。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎585-2967】

## ～今月の表紙～



大木戸ふれあいセンターで開かれている「つるし飾り展」。今年も会場は多彩な作品で彩られ、町内外から訪れた多くの人を魅了しています。

24	22	18	16	14	13	12	11	10	8	6	3	2	目次
カレンダー	生涯学習つうしん	くらしの情報	保健だより	まちのわだい	歴まちさんぽ	笑顔のひろば、小さな天才たち	住民異動の手続きを忘れずに	つるし飾り展、あんぼ柿PR	学校応援ボランティア募集	平成30年度誕生祝い品贈呈式	国見ジュニア応援団解団式	目次	